

## 知的財産の成果 Achievements in Intellectual Property

研究開発戦略を推進する過程で創出された成果を発明の観点から権利化している。その際、事業戦略や研究開発戦略に応じて、コア技術を中心として特許網の構築、重点分野での集中出願、及び事業のグローバル展開を意識した外国出願の強化を行い、技術成果の資産価値の増大を図っている。

日本登録特許件数 (2010年)

順位	企業名	日本登録件数
1	パナソニック	5,558
2	ソニー	4,768
3	トヨタ自動車	3,959
4	キャノン	3,902
5	東芝	3,780
6	本田技研	3,280
7	デンソー	3,169
8	三菱電機	3,060
9	セイコーエプソン	3,014
10	シャープ	2,852

\* PATOLISを利用した調査結果

米国登録特許件数 (2010年)

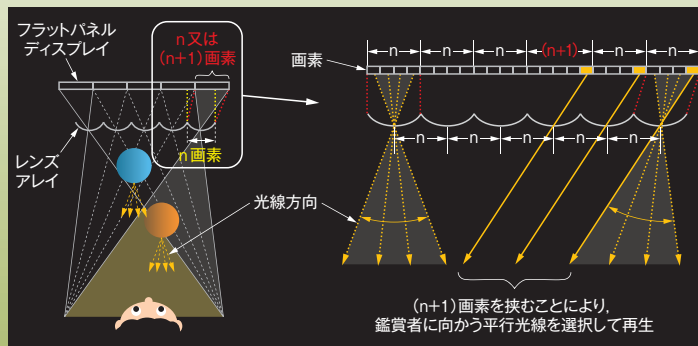
順位	企業名	米国登録件数
1	IBM	5,896
2	三星電子	4,551
3	マイクロソフト	3,094
4	キャノン	2,552
5	パナソニック	2,482
6	東芝	2,246
7	ソニー	2,150
8	インテル	1,653
9	LG電子	1,490
10	ヒューレット・パッカード	1,480

\* 米IFI社データ

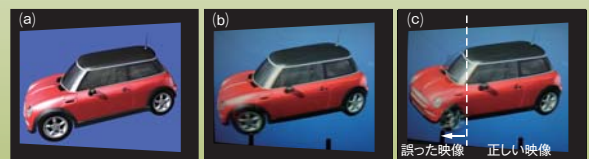
(社)発明協会から、科学技術の向上と産業の発展に功績があったことが認められ、2010年は全国発明表彰で下記の賞を受賞した。

### 【21世紀発明賞】 特許第3892808号 「自然で見やすい3D ディスプレイ」

現在普及している専用眼鏡をかけて3D (3次元) 映像を見る方式とは異なり、眼鏡の要らない方式を実現する技術である。3D 映像の側面が滑らかに見えるという自然さと、広い範囲から見えるという見やすさを同時に実現した点が評価された。3D 映像の高い臨場感によるエンターテインメント分野への応用をはじめ、立体情報を正しく伝えるという特長を生かした医療や教育分野への応用も見込まれており、21世紀の社会を創造する技術として期待される。



(a) この発明の3Dディスプレイ



(b) 3D映像の見え方

### 【発明賞】 意匠第1325882号 「全身用X線CT診断装置」

CT (コンピュータ断層撮影) 診断装置の丸い形の中に象徴的に配置されたコミュニケーションモニターにより、機器と患者、オペレーターとの円滑な情報のやりとりを支援するGUI (Graphical User Interface) デザインを提案した点が評価された。

\* 東芝メディカルシステムズ(株)と共有



(a) CT診断装置



● 架台にコミュニケーションモニターを搭載

● 操作パネルが後ろにもあるので、後ろからでも操作可能



● 架台回転時のオペレーターの近接性そのままに、分割ラインを下げ、患者に対する威圧感の軽減と、操作性を向上

● 小さな子供や高齢者でも乗り降りしやすい低床寝台

(b) 特長